



酒向弘康 議員

## 問 「事業仕分け」導入を

### 答 前向きに検討する

**問** 本町の財政状況は、企業収益や個人所得が低迷し、歳入の柱である町税収入が厳しい状況だ。スリムで町民にわかりやすい、開かれた財政運営が必要と考える。

**答** (1) 新年度予算編成にあたり、限られた財源を踏まえ、どのような切り口で、どのような考え方で、どのようなやり方で進めたか。  
(2) 「まずは、やってみる」町長の強いリーダーシップで「事業仕分け」を導入する考えは。

**答** (町長) (1) 選択と集中を図り持続可能な予算である。  
**答** (総務部長) 無駄を排し、最小限の経費で事業を円滑に進める。  
新規事業を抑制し、単独事業は、極力、取り組まない。  
**町長** (2) 住民に開かれたわかりやすい行政を進めながら、導入は前向きに検討する。

### 急げ、自転車専用レーンを

**問** 自転車の安全な乗り方を啓発するソフト面と、通行環境を整備するハード面の取り組みの強化が求められる。

(1) 町内の交通事故状況は。  
(2) 自転車の事故状況は。  
(3) 自転車の事故防止のソフト、ハード対策は。  
(4) 全国の多くの自治体で3人乗り自転車の貸し出しサービスが急拡大している。本町でのサービス実施の考えは。

### 歩行者と共存できる環境を整備

**答** (総務部長) (1) 死亡事故「ゼロ」は、継続している。平成21年は、重傷者7名、軽傷者252名である。  
(2) 平成19年27件、平成20年25件、平成21年32件である。

**答** (教育部長) (3) 警察署、交通指導員によるマナーの指導や、講話を実施している。また防犯パトロールを兼ね地域の方と連携を図り、交通指導に取り組んでいる。

**答** (建設部長) 歩行者の安全と自転車共存できる環境を整備していく。  
**答** (健康福祉部長) (4) ニーズが少なく、安全な道路が不足しているため、今は考えていない。



交通ルールを守って